

科目名	観光振興論特殊講義	科目コード	8018	単位数	2
担当者名	山田 勅之	開講時期	1 後	開講年次	1年次

● 授業の到達目標及びテーマ

- 本講義は観光振興を検討するうえで、必要となる理論を学ぶことを目的とする。
- ・「観光のまなざし」と観光振興の関係性を理論的に理解する。
 - ・「ホスト」と「ゲスト」というキーワードから観光振興を理論的に理解する。

● 授業の概要

観光はありとあらゆるものをその対象とする可能性があり、したがって観光振興論を理解するためには学際的アプローチが必要である。観光研究において、現在なお有用である、ジョン・アーリ『観光のまなざし』とヴァレン・スミス『ホスト・アンド・ゲスト』を理解する。

以上から観光振興という動態をどのようにとらえるべきか、理論的構築をはかる一助とする。

● 授業計画

- 1週目 ガイダンス
- 2週目 観光のまなざし : 観光のまなざし
- 3週目 観光のまなざし : 大衆観光と海浜リゾート地の盛衰
- 4週目 観光のまなざし : 変わりゆく観光産業の経済学
- 5週目 観光のまなざし : 観光のまなざしのもとで働く
- 6週目 観光のまなざし : 文化変容と観光のリストラ
- 7週目 観光のまなざし : 歴史へまなざしを向ける
- 8週目 観光のまなざし : 観光、文化、社会的不平等
- 9週目 ホスト・アンド・ゲスト : 観光活動と余暇生活
- 10週目 ホスト・アンド・ゲスト : 欧米以外の社会における初期の観光活動（1）
- 11週目 ホスト・アンド・ゲスト : 欧米以外の社会における初期の観光活動（2）
- 12週目 ホスト・アンド・ゲスト : ヨーロッパのリゾートにおける観光活動（1）
- 13週目 ホスト・アンド・ゲスト : ヨーロッパのリゾートにおける観光活動（2）
- 14週目 ホスト・アンド・ゲスト : 複合社会における観光活動（1）
- 15週目 ホスト・アンド・ゲスト : 複合社会における観光活動（2）
- 16週目 振り返り・講評

● テキスト

授業時に配布します。

● 参考書・参考資料等

ジョン・アーリ著、加太宏邦訳『観光のまなざし 現代社会におけるレジャーと旅行』法政大学出版局
パーレーン・スミス『観光とリゾート開発の人類学 ホスト&ゲスト論でみる地域文化の対応』勁草書房

● 成績評価の方法・基準

課題に取り組む姿勢や進捗状況、質疑応答などにより総合的に評価する。

● 更新日付

2024/01/30 10:40